

しおさい通信

No. 9

平成25年1月号

指定就労継続支援B型事業所 しおさい

三崎：銚子市三崎町 3-82

TEL 23-9012

春日：銚子市春日町 2058-1

TEL 25-3475



謹賀新年

今年も健康に気をつけて頑張って行きましょう！！



銚子市福祉まつり参加

12月2日（日）、銚子市市民センターを会場にして、銚子市ボランティア連絡協議会と銚子市福祉まつり実行委員会の主催で、「第28回 銚子市福祉まつり」が開催されました。

福祉まつりでは、ホールで手話コーラスや鳴り物、楽器演奏、幼稚園児によるおゆうぎなどが披露された他、点字・手話体験、無料マッサージ、銚子特別支援学校や福祉施設などによる物品販売などが館内各所で行われ、しおさいも、パン及びクッキー類（会議室）と布製品（ホール棟のホワイエ）の販売を行いました。

開会式や表彰式など都合で、物品販売の開始時刻は午前10時10分でしたが、それを過ぎると続々と市民が来場し、用意した410個のパンは、約1時間で完売してしまうほどの大盛況でした。また、布製品のコーナーにも多くの人が訪れ、気に入った柄のモノを探し出して購入していました。皆さんありがとうございました。

福祉まつりでは、主催者が関係者270人にしおさいのパンを配布（2個／人）するため、販売用のパンと合わせて、950個のパンを、職員が前日の夜から徹夜で製造して会場に搬入しました。本当にお疲れ様でした。



▲パン・クッキー類、布製品 両コーナーとも大賑わいです！▲



▲家族会の焼餃子と水餃子（蒸し餃子）も飛ぶように売れました！！▲

交流会 & もちつき大会

12月21日（金）、ナルク銚子主催で、しおさい春日・のぞみ（指定就労継続支援B型事業所）の中庭において、ナルク会員としおさい・のぞみのメンバーのふれあいを目的として、交流会ともちつき大会が開催されました。

始めの交流会では、ナルク会員のオカリナ演奏合わせて、童謡やクリスマスソングなどを10曲ほど歌いました。続いて行われたもちつき大会では、しおさいとのぞみのメンバーも、希望者がかわるがわる杵をふり下ろしていました。特にのぞみのK君は、その体格の良さを活かした迫力のもちつきでした。この後、出来上がったおもちを、お雑煮、からみもち、あんこもちにして、皆でおいしく頂きました。



▲交流会で合唱中



▲始めはナルクの方がつきます



▲▼しおさい・のぞみのメンバーもペタンコ！▲



▲K君の迫力もちつき！！



▲つきたてのおもちはおいしいな

平成24年12月26日、しおさい春日のメンバーだったHさんが急逝されました。その5日前に行われた餅つき大会ではおいしそうにつきたてのおもちを食べていましたし、亡くなる前日のクリスマス会では、おいしい食事やケーキを食べ、カラオケで山本リンダの「狙い撃ち」を歌い、そして冬の一時金をもらって元気に帰って行きました。しかし、その翌朝、突然訃報が入りました。

彼女は、平成16年にしおさいへ入所以来、休むことも少なく、片道約5kmの道のりを徒歩で通所しました。

ご家族や職員、メンバーそれぞれにHさんに対する思いがあると思いますが、皆で冥福をお祈りしましょう。

生前は、障害ゆえの苦しみやもどかしさなどがたくさんあったことと思いますが、今は、それらから解放され“千の風”となって飛んでいることでしょう。Hさん。お疲れ様でした。さようなら。

編集後記

個人趣味で申し訳ありませんが、水森かおりの「歌謡紀行11～ひとり長良川～」というCDを購入しました。タイトルの曲の他に「松島紀行」「鳥取砂丘」「五能線」など“ご当地ソング”が14曲収録されていますが、このうち8曲が銚子出身の弦哲也さんの作曲でした。元々は歌手でデビューしたそうですが、ヒット曲に恵まれずにいろいろ悩んでいた時に、北島三郎の助言がきっかけとなって作曲した「おゆき」（内藤国雄）が大ヒットして作曲家デビューを果たしました。その後は「天城越え」（石川さゆり）や「北の旅人」（石原裕次郎）といった“演歌の名曲”を生み出した他、多くの歌手に楽曲を提供し、現在までの作曲数は2000を越えるそうです。これからも後世に残るようないい曲をたくさん作って欲しいと思います。